



## 解答例

国内初の新型コロナウイルス感染者が1月下旬に確認された奈良県では、観光客が減り続け、それに伴って天然記念物「奈良のシカ」たちの様子にも異変が出ている。遠出して、普段見かけない場所で目撃されることが増えており、専門家は「いつもの観光地でシカせんべいをもらえなくなったので、首をかじげながらさまよい歩いているのだろう」と気遣う。

観光客が激減した2月以降、奈良市民の間では、シカの行動範囲が広がっていることが話題になっている。日中はせいぜい奈良公園近辺で目にするのが普通だったが、人の足で20分前後、直線で約2キロも離れたJR奈良駅周辺にも出没するなど、市街地へ顔を出す

せんべいもらえず  
さまようシカない

### コロナで観光客激減 奈良で異変



奈良市の近鉄奈良駅前に出没したシカ  
114月

機会が増えた。集団で闊歩（かつぼ）し、ときには植え込みの草を

食べ、ごみ箱をあさる姿も目撃されている。

シカの生態に詳しい麻布大のちの博物館の高槻成紀名誉学芸員は「せんべいがもらえなくなった理由が分からず『変だなあ、変だなあ』と思いながら探しているのだと思う」と分析する。

日頃からシカを守る愛護会の蘆村好高事務局長は「主食は芝草などで、せんべいはおやつのようなもの。飢えているわけではない」と強調する。ただ、奈良公園周辺でせんべいが売られるようになったのは17世紀の江戸時代前期とも言われ、何代にもわたって培われた習慣が急になくなったということになる。

高槻さんは「6月ぐらいになると、芝生が本格的に伸びれば、おなかいっぱいになり、せんべい探しは諦めるでしょう。とはいえ、人間で言えば、お米は十分あってもおかしくない状態ですけどね」と話した。

2020年  
5月12日  
夕刊

- ① 観光客が減り、「奈良のシカ」の行動にどのような異変が出てきましたか。記事から読み取って、その例を2つ書きましょう。

(例) 遠出して、普段見かけない場所で目撃されることが増えている。  
シカの行動範囲が広がり、市街地へ顔を出す機会が増えた。  
集団で闊歩し、ときには植え込みの草を食べ、ごみ箱をあさる姿も目撃された。

- ② 記事から、「奈良のシカ」に異変が出てきた理由が書かれている部分を探し、線を引きましょう。線は何本引いてもかまいません。
- ③ 見出しで、「シカ」を白抜き文字にした理由を考え、30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 「～しかない」の「しか」と「鹿」の「シカ」をかけているから。(30字)

年 組 名前